

事業所における自己評価結果							
事業所名		公表					
事業所名		療育発達支援スタジオCoreMoreClass東浦和					
		公表日 R7年3月15日					
チェック項目	はい	いいえ	工夫している点		課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	・スペースに限りはあるが、お子様が活動に集中して取組めるよう、椅子の配置等の環境設定を行っている。			
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	・配置数が適切になるよう、都度調整している。		・支援方法につながることだと思うので、常に見直していくことが大切ではないかと思う。	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1	・カメラを設置し、裏でも活動を見守ることができるため、情報の伝達を速やかに行うことができている。		・窓の枠に登ってしまうことがあるので、登らないように対策を改善していきたい。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	・活動に合わせて環境調整できていると思う。			
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	1	・各部屋を使用している時は難しい時間帯もあるが、空いていれば使用可。			
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	1			・計画が直前になってしまふのが気になる。業務と並行して行うのが難しいと感じることもある。 ・年間計画をさらに明確に立てられようにしたい。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0				
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0				
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	1			・機会がない。 ・行っているか分からぬ。 無記名 3名	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	1	・内容については検討中だが、研修機会を増やしていくよう検討している。(月に1回程)		・事業所内の研修をもっと充実させたい。 ・全体共通の研修の他に、個々の必要性に応じた学びの場があるてもよいかと思う。	
適切な支援の提	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	1			・作成済み、玄関掲示、HUG活動記録にて公開する予定。	
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	0				
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	・支援計画作成後、会議を行っている。			
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0				
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1				
適切な支援の提	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0				
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0				

供	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	2		・もっと話し合いの場があっても良いと思う。(雑談でも) ・固定化されていると感じる活動もある。
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	0		
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	・支援開始前に必ず打ち合わせをしている。	・職員の配置や動き、子どもの対応・危険予測などさらに確認事項を深めていけるとよいのでは。(事前打合せ、振り返り共に) ・もっと明確にできると思う。
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0		
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0		・検証までに至っていないこともある。 ・支援の改善のための意識が低いと感じる。予測をたて活動の構成を考えるなど、改善の余地があると思う。
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0		
関係機関や保護者との連携	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0		無記名 2名
	25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	0		・機会がなかった。 無記名 4名
	26 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0		
	27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0		無記名 1名
	(28~30は、センターのみ回答)				
	28 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29 質の向上を図るために、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30 (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	(31は、事業所のみ回答)				
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	1	・療育センターやモニタリング等で共有している。 ・研修や交流会に参加している。	無記名 2名
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他の子どもと活動する機会があるか。	1	6	・関係機関連携にて、幼稚園や保育園に訪問に行っている。	
	33 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0		
	34 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	0	・今年度は保護者勉強会を行った。	
	35 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	1	・心がけている。 ・責任者が行っていると思う。	
	36 児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	・アセスメントシートをもとに確認している。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	3		無記名1名
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	・適切に対応できるよう心がけております。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	1	・HUG、インスタ、リタリコナビにて発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	6		・事業所を知ってもらうためにも積極的に行っていきたい。 ・次年度、検討中。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0		・家族に周知までは行っていない。
非常時等の対応	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	1		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	1		・対応児がない。 無記名3名
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	1		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	1	・今年度は災害ダイヤル訓練を行った。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	1	・ヒヤリハットを沢山提出できるようになってきた。	・検討まで行えていないので、ヒヤリハットを整備し、どのような事故や怪我につながるのかなど記録をもとにした話し合いや検討が深められるとよいかと思う。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	1		・研修があったという話は聞いたような記憶があるのでどなたか出たのかもしれません。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3	3		・研修は行っているが、計画にて明確な記載ができない。 無記名1名